緑の羽根募金活動

情報誌「林野」取材（コンテナ苗）

安倍総理大臣に緑の羽根付け

こんにちは！

みどりの女神の佐野加奈です！

一年を振り返って

こんにちは！

私は、ミス日本「みどりの女神」を受賞してから、たくさん活動を行いました。多くの方々の支えのおかげで、一年の任期を全うすることができました。ありがとうございました。

私は、当初、日本は森林が不十分であり、木を植えていくことが必要なのだと考えていました。

しかし、まず最初、受賞してすぐに私のふるさと、静岡県の林業の現場へ案内いただいて教わったことは、木は伐って使っていくことが大切ということです。こうして固定概念が覆り、みどりの業界に対するイメージが変わったところから、「みどりの女神」の活動がスタートしました。

印象深かったのは、総理官邸を訪れたときです。安倍総理大臣に緑の羽根を付けさせていただいた時は、緊張でガチガチでしたが、「こんな大役、二度とないな。」と有難い気持ちでいっぱいでした。

5月は、今や林業の作業に欠かせない車両系建設機械の免許を取得しました。一学生の私でも操作できるということは、女性が今後林業に携わっていくために重要なメッセージになると思いました。「林業は、男性の仕事」というイメージを払拭できるとうれしいです。

7月には、チェーンソーの技能講習を受講しました。この講習は正直に言って楽なものではありませんでした。刃物を扱う仕事とは、毎日危険と隣り合わせであるということを改めて認識しました。

危険が伴う仕事だからこそ、現場の方々の安全が大事であり、本人はもちろん、周囲もフォローしないといけないと感じました。講習を受けたことで、安全について考える機会となりました。

「全国植樹祭」、「全国育樹祭」では、天皇皇后両陛下、皇太子殿下のお手入れの瞬間に立ち会えて、本当に感動しました。

そのほかにも、ポスター用写真の撮

影、植樹活動、各種イベントへの参加や司会、トークショー、講演など1つ1つの活動に思い出があります。

森林とは、命を育んでいるものだと思います。また、大きな愛で包んでくれているような、命の源だというイメージも持っています。林業に携わる方々は、森を守り、育て、使わせていただくことを司る、心のやさしい方々だと感じます。

私は、「みどりの女神」の根底にある役割を、みどりやそれに携わる人々を応援し、より健やかに育むお手伝いをすることなんだと捉えました。

私には、「こうありたい」と思う理想像があります。それは「人の気持ちをくみ取ることのできる、愛にあふれる女性」です。ミス日本を受賞する前からそうなりたいと思っていて、受賞後にみどりの業界の方々と活動を共にすることで、その人生像に少しずつ近づけたのではないかと思います。

これからも、その気持ちを忘れずに自分自身を育てて(成長して)いきたいです。

私は、今後も初代「みどりの女神」としての誇りを持って、応援団のような存在として生きていきたいと思います。「みどりの女神」を受賞できたことは、私の一生の名誉です。ありがとうございました。

そして、すでに誕生しているであろう2代目の「みどりの女神」についても、応援どうかよろしくお願い致します。

PROFILE

佐野(さの) 加奈(かな)

平成6年3月23日、静岡県生まれ。2015年ミス日本みどりの女神として活躍中！

高性能林業機械を操作

多数のポスターに

2016年ミス日本コンテスト最終候補者　森山農林水産大臣を表敬訪問

平成27年12月４日、ミス日本コンテストの最終候補者13名が、森山農林水産大臣を表敬訪問しました（１名欠席）。

最終候補者の中から、本年１月25日に開催される「第48回ミス日本コンテスト2016」において「ミス日本みどりの女神」の受賞者が決定します。